

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム第24回幹事会議事要旨

- 1 日時：令和5年4月26日（水）15時30分～16時40分
- 2 場所：オンライン（Web会議システム Zoom）
- 3 出席者：遠藤（会長代理）、甘利（副会長）、岡島、石濱
オブザーバー：寶（防災科学技術研究所）、林（東京海上日動）
陪席者：松室（防災科学技術研究所）、松本（〃）、小松原（セコム）、
大貫（筑波大学）、増田（〃）、酒井（〃）、根本（〃）

（敬称略）

4 議事

議事に先立ち、出席者・オブザーバー・陪席者の自己紹介があった。

I. レジリエンス研究教育推進コンソーシアムに係る事案

(1) 令和5年度幹事会委員・運営委員会委員について

遠藤会長代理から、資料1-1～2に基づき次の説明があり、承認された。

- 各参画機関の人事異動に伴い運営委員会委員を次のとおり交代する
東急プロパティマネジメント：真城 源学 氏 → 狩矢 淳雅 氏
防災科学技術研究所：林 春男 氏 → 寶 馨 氏
労働安全衛生総合研究所：佐々木 哲也 氏 → 山際 謙太 氏
- 次回総会で委員の互選により会長（残任期間1年）を選出する
- 幹事会として防災科学技術研究所の寶氏を会長候補者に推薦したい
- DNP 佐波晶氏に幹事会委員就任を打診し、本人内諾のうへは総会で報告する

(2) 東京海上日動火災保険株式会社の参画について

遠藤会長代理から、資料2に基づき次の説明があり、承認された。

- 東京海上日動火災保険株式会社から入会申込があった
- 次回総会で入会審議を行う。なお、機関から運営委員会委員には林春男氏を選出される予定

(3) 株式会社東急総合研究所の参画について

遠藤会長代理から、資料3に基づき次の説明があり、承認された。

- 株式会社東急総合研究所から入会申込があった
- 次回総会で入会審議を行う。なお、機関から運営委員会委員には真城源学氏を選出される予定

(4) 令和5年度年間活動計画について

遠藤会長代理から、資料4に基づき次の説明があり、承認された。

- 第6回総会：5/22（月）15:00-16:30 オンライン開催
- 第15回運営委員会：8月頃にNTT宇宙環境エネルギー研究所で見学会を兼ねて開催予定
- シンポジウム：7月下旬頃に「JST 共創の場形成支援プログラム」との共同開催予定
- 第2回ピッチ会：コンソーシアム就職説明会を兼ねて開催予定（対象：学類生・大学院生）

主な意見：

- ・寶氏：ピッチ会の「ピッチ」とはどのような意味か。
- ・遠藤会長代理：参画機関内で研究を紹介し合う場と捉えている。

- ・林氏 : 単に研究紹介を聞くだけでなく、各参画機関がブースを作り「資金を出して欲しい」「人が欲しい」という誘いの場だと理解している。
その意味で、就職説明会とも親和性が高い。
- ・岡島委員 : 「コンソーシアム就職説明会」の名前は変えたほうがよいのではないか。
- ・石濱委員 : 通常の人事担当者が行う説明会ではなく、リスク・レジリエンス分野に関連のある部署の方がブースを設け研究や業務紹介もしてくれると学生にとって魅力的。
- ・遠藤会長代理 : 就活との兼ね合いで実施時期が難しい。M1の冬には多くの学生の就職が決まってしまう。
- ・岡島委員 : 大学院に内定したB4・研究室に内定したB3をメインにするなら3月頃か。
- ・遠藤会長代理 : 就活中のM1・研究室検討中のB3をメインにするなら10~11月もあり。
引き続き実施時期を検討したい。

(5) JST 共創の場形成支援プログラムについて

遠藤会長代理から、資料5-1~2に基づき次の説明があり、承認された。

- 現在、今秋の本格型申請に向けた拠点ビジョンの作り込みとそれに伴うターゲット・研究開発課題の再構築を進めており、総会で新たなビジョンを提示する予定
- “まずは拠点ビジョンを掲げ、その実現に必要なピース（機関・人）を集めていく”というバックキャスト思考から逸脱しないよう留意しつつ、コンソーシアム機関への参画の声掛けを進める

(6) 令和4年度参画機関・筑波大学意見交換会実施報告

遠藤会長代理から、資料6に基づき次の報告があった。

- 各参画機関からいただいた意見等は総会で紹介予定
- 未実施の機関については今後調整予定

(7) 第1回ピッチ会実施報告 (R4.11.9)

遠藤会長代理から、資料7に基づき第1回ピッチ会の実施報告があった。

(8) その他

遠藤会長代理から、次の提案があり、了承された。

- 近日中に筑波大学メンバーで防災科学技術研究所・實理事長を訪問し、コンソーシアム及び学位プログラムに関する説明を差し上げたい（日程は事務局で調整）

II. 筑波大学リスク・レジリエンス工学学位プログラムに係る事案

(1) リカレント教育推進事業（リスク x ライフ）について

岡島委員から、資料8に基づき次の報告があった。

- 筑波大学で協働大学院方式を実施する2学位プログラム（リスク・レジリエンス/ライフイノベーション）共同でリカレント教育推進事業に申請した
- 開設準備中のオムニバス講義では、コンソーシアムの企業・研究機関等からの参加も可とし、最先端の知識の波及とともに参加者相互の人的ネットワーク拡大に貢献

主な意見：

- ・岡島委員 : 甘利副会長にオムニバス講義をお願いできればと考えている。
- ・甘利副会長 : 「商品とは何か」のテーマで、今回の関係者が関心のありそうな話題の提供が可能。

(2) 令和4年度就職実績報告（R5.3.24 修了者）について

岡島委員から、資料9に基づき次の報告があった。

- 博士後期課程修了者：6名（全員標準修業年限3年で修了）
- 博士前期課程修了者：33名
- 超売り手市場で就職状況が良好であるがゆえに後期課程への進学者数が少ないことが課題

(3) コンソーシアム参画機関学位取得者数一覧（R5.3.24）について

岡島委員から、資料10に基づき次の報告があった。

- 参画機関から初の博士号取得者2名を輩出（NEC、防災科研）

(4) コンソーシアム参画機関在籍者数一覧（R5.4.1）について

岡島委員から、資料11に基づき次の報告があった。

- 参画機関からの今年度入学者は0名
- 参画機関外の一般社会人2名が協働大学院教員を主指導に指名し博士後期課程に入学（防災科研・臼田教授（協働大学院）、産総研・加藤教授（協働大学院））
- オープンキャンパスでも協働大学院教員の指導を希望する問合せがあり、協働大学院方式の認知度が少しずつ高まっている

主な意見：

- ・甘利副会長：セコムの人事担当者に社員の学位プログラム受験の話を持ち掛けると必ず授業料の話題になる。社会人学生の授業料減免について検討願いたい。

(5) 令和5年度参画機関インターンシップについて

岡島委員から、資料12に基づき次の報告があった。

- 学位プログラムオリエンテーションで学生に周知した
- 教員からも参加を働きかけていく

主な意見：

- ・遠藤会長代理：学位プログラムWebサイトのインターンシップ案内ページを学生にとって分かりやすい場所にすべきではないか。
- ・岡島委員：広報委員会でもWebサイトのリニューアルを検討中。

(6) その他

岡島委員から、追加資料に基づき次の説明があり、承認された。

- 従前の学位プログラム紀要を「コンソーシアム活動報告」として7月頃発刊予定
- 林氏、寶氏にも巻頭言や挨拶等の寄稿をお願いしたい

以上